

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 15日

事業所名 株式会社ユニバーサルラボ グローイング

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3				
	② 職員の配置数は適切であるか	2	1			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・活動時に注意がそれしてしまうように、視覚に入りやすい所におもちゃがある。 ・普段出ている物をしまった時に、絵カードがないから困ってしまうことがある。 ・視覚優位の児童に対し、視覚情報が足りていない。 →視覚を意識し、注意がそれないように環境設定や、絵カードやイラストを用いた個別のスケジュール等の用意をしていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			<ul style="list-style-type: none"> ・活動時、障害になる物を片づけ、使用可能な範囲を拡大し、ケガのリスクを減らしている。 	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3				
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	2			<ul style="list-style-type: none"> ・今回が初めての評価表になるため、今後業務改善につなげていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3				
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3				
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査等の結果がある児童は、結果を参考にして支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚プロフィール等のツールの使用を検討していく。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によってプログラムが変わる。また、プログラム内容も毎週変えて対応している。 	
⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3					

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑥	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3				
	⑩⑦	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		3			・その日ではなく翌日に行っている。
	⑩⑧	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3				
	⑩⑨	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3				
	⑩⑩	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1			
	⑩⑪	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					対象児童なし
	⑩⑫	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					対象児童なし
	⑩⑬	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3				
	⑩⑭	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1			
	⑩⑮	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	2		
保護者への説明責任等	⑩⑯	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	1	1		
	⑩⑰	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		2	1		
	⑩⑱	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3				
	⑩⑲	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3				
	⑩⑳	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3				
	⑩㉑	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3				
	⑩㉒	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3				
	⑩㉓	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3				
	⑩㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	1		
	⑩㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	2			
⑩㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3					

非常時等の対応	③⑦	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3			・アセスメント時にアレルギー等の確認を行っている。現在アレルギー児はいないが、いた際は医師の指示に基づく対応を行うことができる。	
	③⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			・朝のミーティングで前日に起こった事例を取り上げ、今後の対応等の話し合いをしている。	
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1			
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	1	1		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。